

スポーツ観戦をこよなく愛する皆さんにとつてワクワクが止まらないスポーツの祭典「ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック」が、いよいよ今月6日に開幕します。もちろん、私もその一人です。雪と氷を舞台に、勝負の瞬間にすべてを懸ける選手たちの姿には、毎回心を揺さぶられます。

そんなオリンピッククイヤーを迎える中、宇土市にとつても誇らしいニュースが続いています。

まずは、昨年末にサッカー界から届いた誇らしい話題から。

J1鹿島アントラーズの植田直通選手が全38試合にフル出場し、9年ぶりのチーム優勝に大きく貢献。「Jリーグ・アウォーズ」で「ベストイレブン」とフェアプレー個人賞をダブル受賞されました。植田選手の活躍は、郷土の子どもたちに夢や希望を与えてくれます。

年明け早々に発表された「第56回熊日スポーツ賞(※)」では、全国中学生選手権での初優勝、そして全国中学校体育大会全中(※)での2年ぶり7度目の優勝と、見事2冠を達成した鶴城中学校女子ハンドボール部が、「大賞」という栄誉に輝きました。2冠をかけた戦いには大きなプレッシャーもあったことでしょう。その中でライバルを圧倒できたのは、日々の厳しい練習を積み重ねてきた努力の賜物です。

また、指導者賞には鶴城中教諭の高濱壽夫さんが選ばれました。相撲部を団体・個人ともに全国レベルへ導くなど、長年にわたり相撲の普及・発展に貢献されたご功績に心より敬意を表します。

さらに、JVA第78回全日本バレーボー

げん き 元樹だより

市長からのメッセージ

元松 茂樹

市長の部屋



◀こちらからも
ご覧いただけます▶



ル高等学校選手権大会(春高バレー)では、信愛女学院高等学校2年の浅野陽南選手(鶴城中出身)が躍動。惜しくも4強入りは逃しましたが、次世代を担う学生アスリートの目覚ましい活躍に、私も自身も大きな元気をもらいました。

スポーツは、挑戦する勇氣や仲間と支え合う力、そして夢を追う情熱を育ててくれます。宇土市はこれからもアスリートの挑戦を応援し、夢を持つ若者の成長を支えてまいります。市民の皆さまも、ぜひ温かいご声援をお願いいたします。

オリンピック期間中は寝不足必至(笑)という方も多いことでしょう。仕事や学業に支障のない範囲で、力いっぱい応援しましょう！

※2025年に国内外の大会で活躍した
県関係選手や指導者らをたたえる賞

香典返し

市社協に次の方々から寄付がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

▽馬之瀬町	北野和美	亡夫 幸太郎	(五七)
▽笹原町	水谷文子	亡夫 静一	(九三)
▽網津町	谷山正貴	亡父 正義	(九四)
▽岩古曾町	林田友紀	亡父 那須 久	(八四)
▽兵庫県	田上伊津男	亡母 マツ子	(九八)
▽戸口町	大原トヨノ	亡夫 榮一	(九九)
▽栄町	富田美紀	亡母 山田恵美子	(九二)
▽花園町	中野正立	亡妻 ムツエ	(七八)
▽松原町	厚坂 智	亡父 得三	(九七)
▽船場町	田代 徹	亡母 美恵子	(九二)
▽新開町	津崎寛人	亡母 エイ子	(九八)
▽岩古曾町	中嶋秀幸	亡母 幸子	(九〇)
▽入地町	荒川和樹	亡父 喜一	(八八)

社協へのご寄付は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄付金控除」ができます。
(※1月10日受付分までを掲載)

編集後記

▽今年度から「広報に力を入れよう」と広報プロモーション係が発足。そのプレッシャー!...ではなく、その成果もあり、熊本県広報コンクールの広報紙(市部)で、宇土市初の入選を果たしました!これまでの最高は佳作。担当者一同、思わずガッツポーズです。とはいえ、上にはまだ上の賞。これからも、市民の皆さんにもっと楽しんでいただける広報紙を目指して挑戦を続けます。(東)

▽昨年4月に入庁し、日々学びながら広報づくりに向き合ってきましたが、このたび広報コンクールで入選することができ、非常にうれしく思います。特集の制作は大変なこともありましたが、多くの出会いや学びに支えられた時間でもありました。(七邑)

▽県広報コンクールで入選することができました。広報担当になつて4年、念願が叶いとても嬉しく思います。今月号では二十歳の祝典を特集しました。今年は雪が降る寒い日でしたが、新成人が友人や恩師と再会する姿に心が温まりました。(松)

▽昨年末、東京の友人に網田ネーブルを贈ると、世界中を回って各地の名産を知る、舌の肥えた友は「酸味と甘さのバランスが絶妙で、付度なしに実につまい」と絶賛。私もうれしかったです。果物だけに生産者の努力が「結果」してさらなる販路拡大となりますように。(七邑)